

在セネガル日本国大使館月報

2024年11月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 17日、国民議会選挙が実施された。21日、暫定結果が公表され、ソンコ首相率いるPASTEFが全165議席のうち130議席を獲得し、第一党となった。27日、憲法評議会は同内容の最終結果を公表した。投票率は49.51%。(22日 Le Soleil、27日 憲法評議会コミュニケ)

(外政)

- 11日、ファイ大統領は、パレスチナとレバノン問題について協議するイスラム協力機構の臨時首脳会合に出席した。(12日 大統領府 X)
- 22日、ファイ大統領は、プーチン・ロシア大統領と電話会談し、二国間パートナーシップ及びECOWAS 空間の保護を含むサヘルの平和と安定を強化するために協力することで一致した。(22日 大統領 X)

(文化・スポーツ)

- 7日、ダカール市内大劇場で第15回ダカール芸術ビエンナーレ(Dak' Art 2024)の開幕式が行われ、ファイ大統領が出席した。(8日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 20日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領に対して、ロシアの侵略に対して1000日間勇敢に抵抗したと称えるビデオメッセージを発出した。(20日 anacao)

ガンビア

- 11日、タンガラ外務大臣は、サウジアラビアで開催中のアラブ・イスラム・フォローアップサミットにおいて、ガザ地区を含むパレスチナでの人道的危機はムスリム世界のみでなく国際社会にとっても破滅的な結果をもたらすとの見解を示した。(13日 The Point)
- ガンビアを含む32の英語圏アフリカ諸国のジャーナリストは、中国浙江省金華市の金華テレビ放送センターを視察し、国内・国際メディアの現状について議論した。(13日 The Point)

ギニアビサウ

- 2日、エンバロ大統領は、11月24日に実施が予定されていた国民議会選挙を技術的条件が満たされていないとして延期することを公表した。(4日 Le Soleil)
- 国民議会議員選挙の実施を訴えるデモに参加していた政治同盟Pai Terra RankaとAPI-CG所属の国会議員が逮捕される事件が発生し、21日、同連盟は非難声明を発出した。(21日 O Democrata)
- 21日、エンバロ大統領は国会議員逮捕事件を受け、API-CGを非難しつつ、いかなる人も町の住民に迷惑をかける権利はないと主張した。(21日 ANG)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:ファル・アフリカ統合・外務大臣→ファル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 2日、国民議会選挙キャンペーン中に政治的暴力が発生していることを受け、ファイ大統領は暴力を非難するとともに政治関係者に責任を持って行動するよう要請した。(4日 Le Soleil)
- 4日、ママドゥ・ムスタファ・バ前財政・予算大臣(2022年9月-2024年4月)が、滞在中のパリで病死(享年59歳)した。(5日 Le Soleil)
- 17日、国民議会選挙が実施された。21日、暫定結果が公表され、ソンコ首相率いるPASTEFが全165議席のうち130議席を獲得し、第一党となった。27日、憲法評議会は同内容の最終結果を公表した。投票率は49.51%。(22日 Le Soleil、27日 憲法評議会コミュニケ)

(外政)

二国間・多国間関係

- 11日、ファイ大統領は、パレスチナとレバノン問題について協議するイスラム協力機構の臨時首脳会合に出席した。(12日 大統領府 X)
- 16日、ファイ大統領はギニアビサウ独立51周年兼アミルカル・カブラル生誕100周年式典に出席した。(18日 Le Soliel)
- 22日、ファイ大統領は、プーチン・ロシア大統領と電話会談し、二国間パートナーシップ及び ECOWAS 空間の保護を含むサヘルの平和と安定を強化するために協力することで一致した。(22日 大統領 X)

(経済)

経済一般

- 5日、農業省は、国内の落花生販売を促進し、国内産業の成長の妨げとならないよう、15日以降落花生種子の輸出を全面停止することを発表した。(6日 Le Soleil)
- 12日、EUは違法・未申告・無規制漁業の対策が不十分として、17日に5年間の期限を終えるEUとセネガルの漁業協定を更新しない旨発表した。(12日 APS)

(文化・スポーツ)

- 5日、フランスの高等教育機関の一つである政治学院は、西アフリカとの関係強化を目的に、地域を統括する事務所をダカールに開設した。2018年のナイロビに続く開設となる。(7日 Sud Quotidien)
- 7日、ダカール市内大劇場で第15回ダカール芸術ビエンナーレ(Dak' Art 2024)の開幕式が行われ、ファイ大統領が出席した。(8日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 8日、中央銀行は、ユーロ圏との政策金利のギャップを埋めるべく、政策金利を1.5%から1.75%に引き上げることを決定した。また、2024年のGDP成長率を6.1%に引き上げた。(8日 Expresso das Ilhas)
- 8日、国立統計研究所は貿易収支を公表し、2024年の第3四半期の輸入が前年同期比で8.5%減、輸出が16.4%増だったことを明らかにした。(8日 Expresso das Ilhas)
- 20日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領に対して、ロシアの侵略に対して1000日間勇敢に抵抗したと称えるビデオメッセージを発出した。(20日 anacao)

- 20日、ネーヴェシュ大統領は、ECOWASの機能を再定義し、経済統合を強化し、平和と安全保障の問題をAUに委任するようECOWASの根本改革の必要性を訴えた。(20日 balai)

ガンビア

- 農業省は、農地の管理と肥沃化を目的に、イスラム開発銀行の支援により、土壌の肥沃度合いをマッピングする事業を開始した。(6日 The Point)
- 11日、タンガラ外務大臣は、サウジアラビアで開催中のアラブ・イスラム・フォローアップサミットにおいて、ガザ地区を含むパレスチナでの人道的危機はムスリム世界のみでなく国際社会にとっても破滅的な結果をもたらすとの見解を示した。(13日 The Point)
- 12日、ECOWAS域内での持続可能な経済発展に向けた地域統合・協力を目的に、第9回ECOWAS競争委員会会合がガンビアで開幕した。(13日 The Point)
- ガンビアを含む32の英語圏アフリカ諸国のジャーナリストは、中国浙江省金華市の金華テレビ・放送センターを視察し、国内・国際メディアの現状について議論した。(13日 The Point)
- 15日、ジャロウ副大統領は、バンジュール港の運営効率を高め、同港を貿易のハブとして位置づけることを目的に貿易物流憲章を立ち上げた。(18日 The Point)

ギニアビサウ

- 2日、エンバロ大統領は、11月24日に実施が予定されていた国民議会選挙を技術的条件が満たされていないとして延期することを公表した。(4日 Le Soleil)
- 4日、アミルカル・カブラル生誕100周年を記念して、駐ギニアビサウ中国大使は20台の車両(ミニバス10台、4×4を10台)を供与した。(5日 ANG)
- 5日、サンボ天然資源大臣は、ロシアのアルミニウム生産会社のRusalの支援を受け、天然資源分野で70名の若年者に対して職業訓練を実施することを公表した。(5日 DW)
- 5日、サンボ天然資源大臣は、中国アルミニウム(CAC)と鉱山開発の戦略的パートナーシップを締結し、東部ボエ市のボーキサイト鉱山の権益の一部を譲渡することを合意した。(5日 ANG)
- 国民議会議員選挙の実施を訴えるデモに参加していた政治同盟Pai Terra RankaとAPI-CG所属の国会議員が逮捕される事件が発生し、21日、同連盟は非難声明を発出した。(21日 O Democrata)
- 21日、エンバロ大統領は国会議員逮捕事件を受け、API-CGを非難しつつ、いかなる人も町の住民に迷惑をかける権利はないと主張した。(21日 ANG)
- 雨季の豪雨により農作物が被害を受けたことから、農村地域住民の生活の安定化を図るべく、在ギニアビサウ中国大使館は、ギニアビサウ政府に対し米1,000トンを供与した。(27日 ANG)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)